

「ほっとやまはく」 タイム⑤6

スマートフォンで「天体写真！」



私は、きれいな天体写真を撮ることが子ども頃の憧れでした。当時、フィルムカメラで一生懸命撮るのですが、本に載っているような写真は撮れませんでした。時代は進み、フィルムカメラからデジタル一眼レフカメラに代わると、撮ったその場で写真が映し出されるという画期的な変化に喜んだものです。今では皆さんが手持ちのスマートフォンにデジタルカメラ機能が付いています。そのカメラは年々進化しており、一昔前のデジタル一眼レフカメラをしのぐ性能を持ったものが登場しています。今回は、スマホを使った天体写真の撮影方法についてご紹介します（写真はすべてスマホで撮影しました）。



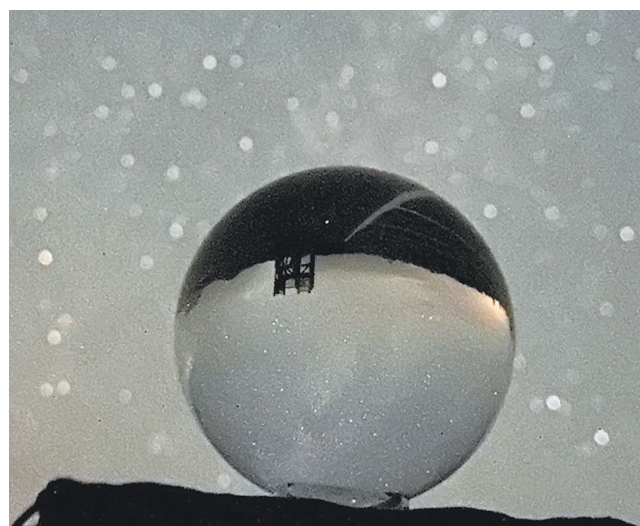
冬の大三角(30秒露光、スマホ撮影を画像処理)

▼どうやって撮るの？

スマホのカメラが高性能でも、そのままでは星は撮影できません。暗い場所で、スマホを三脚などにしっかりと固定することで、ナイトモードや夜景モードが選択できるようになるものがあります。選択できない場合でもスマホのアプリで代用できます。「夜景」や「星」などのキーワードでアプリを検索してみてください。

スマホを三脚に固定するには、1000円ショップなどで売っているスマホ用の三脚アダプターや簡易三脚が役に立ちます。三脚にしっかりと固定して撮りたい方向に向けるだけです。シャッターを押すと自動で長時間撮影してくれます。星を撮る専用のアプリでは明るさ調整(ISO感度)や撮影時間などを細かく調整できるものがあります。ただ、やみくもに長い時間撮れば良いわけではありません。

星を点に写すには、30秒から1分ぐらいが良いでしょう。まずは星座や景色と一緒に撮る星景写真がおおすすめです。星景撮影では、星をちよつとにじませると星座の形が分かりやすくなります。にじませるには、スマホのレ



ガラス球に閉じ込めた夏の大三角

▼レッツ、チャレンジ！

身近にあるスマホでも天体写真が撮れることがお分かりになったと思います。失敗を恐れず、チャレンジすることが上達のコツです。私も昨年12月のふたご座流星群の観測では約2000枚も撮影しましたが、上手く撮れたのはわずかでした。難しいのですが、良い写真が撮れた時の喜びは格別です。

皆さんもぜひ星空を眺め、スマホで写真撮

ンズの前に透明度の高いセロハンテープを貼る技があります。ガラス球を使った写真も面白いです。たくさん撮影していると明るい流れ星が撮影できる時もあります。

▼天体望遠鏡でも

山口博物館の天体観望会では、多くのお客様が天体望遠鏡をのぞいた後にスマホで写真を撮ろうとされます。しかし、上手に撮れません。ここでもコツはスマホをしっかりと固定することなのです。接眼レンズにスマホを固定するアダプターなどがあります。カメラの軸を接眼レンズの中心にしっかりと合わせるのがコツです。そしてカメラアプリで明るさを調整することで上手に撮れます。

山口県立山口博物館
TEL 083-922-0294
月曜休館（祝日の場合は翌日）。最新情報はホームページで。



三脚に固定したスマホ